

●株主の皆様へ●

第60期 第2四半期報告書

2019年3月1日 ▶ 2019年8月31日

Plenus

証券コード：9945

株式会社プレナス



代表取締役社長 塩井 辰男

● 2020年2月期第2四半期連結業績サマリー

	実績	前年同期比
売上高	757 億円	△1.2%
売上原価	377 億円	+1.6%
売上総利益	379 億円	△3.9%
販売費及び一般管理費	377 億円	△4.3%
営業利益	182 百万円	+960.3%
経常利益	341 百万円	+16.2%
親会社株主に帰属する四半期純損失	873 百万円	—
	実績	前期比
当社グループ店舗数	3,396 店舗	△7 店舗
国内	3,145 店舗	△16 店舗
海外	251 店舗	+9 店舗

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社グループの第60期(2020年2月期)上半期の業績と主な取り組みについてご報告いたします。

上半期の経営概況と業績

上半期におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化や海外経済の減速傾向から輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかな回復基調が続きました。当外食産業におきましては、原材料価格や物流費、人手不足にともなう人件費の上昇などに加え、消費行動の多様化が進むなど、引き続き厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、お客様の満足度向上に努めるべく、商品力や店舗販売力の強化を目指すと共に、中長期での安定的な成長を見据え、FC化の推進や海外事業の強化と同時に、食品総合工場や子会社工場を活用し、内製化の推進によって商品の品質や生産性の向上を図るなど、さらなる事業基盤の強化に注力しました。

以上の結果、上半期の連結業績につきましては、売上高は、既存店売上高が前年同期実績を下回ったことが要因で前年同期実績を下回りました。利益面につきましては、前年より実施してきた商品力強化による原価率の上昇などがあったものの、効率的なプロモーション展開や店舗諸経費の改善などによって営業利益及び経常利益は前年同期実績を上回りました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、9月以降のほっともつと直営店舗の退店に伴う固定資産に係る減損損失を計上したことなどによるものです。

今後の取り組みについて

こうした状況の中、お客様の満足度向上に努めるべく、内製化の推進やFC化の推進、内製化商品を使用したキャンペーン展開による店頭売上の拡大、新規店舗モデルの構築に取り組んでまいります。

昨年秋から稼働した食品総合工場におきましては製品の歩留まりや製造効率が当初の計画を上回るなど、稼働状況は順調です。今後も製造アイテムの順次拡大、自社製造とメーカー仕入のシェアの見直しによって内製化率の向上を図り、製造量を増やすことによって、より一層の効率化を見込んでおります。

また、自社工場製造によって企画から販売までの自社コントロールが可能となり、仕入価格も低減することから、従来よりも魅力的なキャンペーンの実施が可能になります。引き続きマーケティング活動により様々なお客様のニーズを把握し、魅力的な商品によるキャンペーンの実施によって競合他社との差別化を図り、売上を拡大させてまいります。

「ほっともっと」は、生産性の高い店舗オペレーションの確立、新規加盟者の獲得や既存の加盟者の多店舗経営の促進、人材の育成を進めていくことで、FC化を推進してまいります。「やよい軒」は、引き続きユニットFC制度を利用し加盟店移管の推進を行うと共に、FC推進部を新設することでさらなるFC化の推進を目指します。

また、「やよい軒」では最新設備による機械化やオペレーションの標準化を行い、生産性の高い新たなコンセプトの店舗モデルである新「やよい軒」を確立しました。これにより、早期投資回収が可能となり、出店を推進することで事業規模の拡大を目指してまいります。

また、海外事業につきましては、マーケットに応じた売上向上施策の実行、食材調達の現地化による店舗原価

低減、出店の推進などにより、事業の黒字化を目指してまいります。

今期の新規出店につきましては、国内は「ほっともっと」10店舗、「やよい軒」17店舗、「MKレストラン」2店舗の合計29店舗を計画しております。また、海外は「やよい軒」を中心に合計48店舗を計画しております。

2020年2月期の連結業績予想と修正の要因

通期の連結業績予想につきましては、8月に修正を行い、売上高1,533億10百万円(前期比0.4%減)、営業利益6億50百万円(前年同期は、営業損失5億1百万円)、経常利益10億70百万円(前期比647.2%増)、親会社株主に帰属する当期純損失8億30百万円(前年同期は、親会社株主に帰属する当期純損失29億26百万円)としております。修正の主な要因につきましては、ほっともっとの直営店190店舗の退店に伴うもので、売上高の減少や、一時的に発生する原状回復費用などのコスト、減損損失を計上することにより当初の予想を下回る見込みとなりました。

配当金について

当社は、1株当たり年間配当60円または、年間配当性向50%を達成する金額のいずれか高い額をお支払いすることを、配当の基本方針としております。これに基づき、当期の中間配当金につきましては、1株当たり30円とさせていただきます。なお、2020年2月期の年間配当は60円を予想しております。

株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



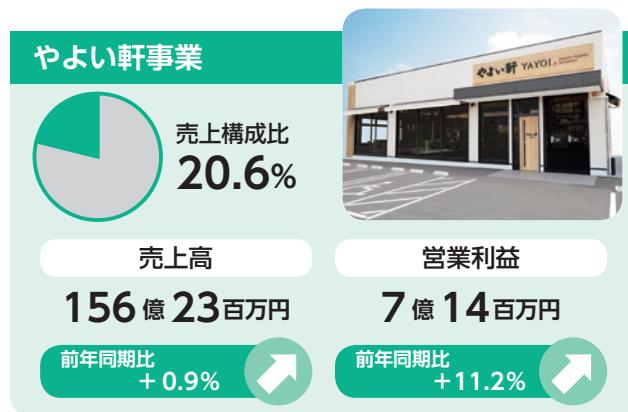
当期の業績について

持ち帰り弁当のトップブランドとして、おいしいごはんにこだわり、厳選した高品質の国産米を使用し、店内調理によるできたてのお弁当を提供することを基本に、肉厚とジューシーさ、そしてソースにこだわった新『ハンバーグステーキ』シリーズを新発売するなど、付加価値を高めた商品でのプロモーション展開や店舗販売力の強化で、お客様のさらなる満足度向上に注力しました。また、FC化の推進や、当社グループ店舗で使用する商材の内製化の推進に取り組みました。

上半期の業績につきましては、売上高は既存店売上高の減少が要因で前年同期実績を下回りました。利益面につきましては、効率的なプロモーション展開や店舗諸経費の改善などにより、前年同期実績から赤字幅が縮小しました。

今後の取り組みについて

品質と価格を追求した内製化商品の提供と、キャンペーンの実施によってお客様の満足度向上を目指してまいります。またフランチャイズ展開を中心としたチェーンの成長を目指してまいります。



当期の業績について

素材や手作り感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、定番のステーキを爽やかに味わえる『さっぱりレモンのカットステーキ定食』を販売するなど、引き続きお客様の幅広いニーズへの対応を図りました。また、「ユニットFC制度」を利用して新規オーナーの獲得を積極的に行うなど、FC化の推進に取り組みました。

上半期の業績につきましては、売上高は既存店売上高の減少があったものの、新規出店による店舗数の増加により、前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、原価率の上昇などがあったものの、効率的なプロモーション展開や店舗諸経費の改善などによって前年同期実績を上回りました。

今後の取り組みについて

「最高の普通を。」をコンセプトにマーケティング施策を実行しお客様の満足度向上を目指してまいります。また、生産性の高い最新型「やよい軒」での出店を推進し、同時にフランチャイズ展開も推進してまいります。

MKレストラン事業



売上構成比
2.2%

売上高

16億79百万円

前年同期比
△2.8%



営業損失

1億51百万円

前年同期営業損失
11百万円



当期の業績について

豊富な具材と個性豊かなスープが選べるしゃぶしゃぶに、季節限定のスープや特選具材を取り揃えるなど、商品力の強化に努めました。また、『タイフェスティバル』を実施するなど、売上の拡大や店舗収益の向上に努めました。

上半期の業績につきましては、売上高は既存店売上高の減少により前年同期実績を下回りました。利益面につきましては、人件費や販売促進費などの増加により前年同期実績を下回りました。

海外事業



売上構成比
2.7%

売上高

20億28百万円

前年同期比
+10.1%



営業損失

2億30百万円

前年同期営業損失
3億5百万円



当期の業績について

海外事業につきましては、マーケットに応じた売上向上施策の実行、食材の現地化による店舗原価の低減、出店の推進などにより、事業の黒字化を目指しました。

上半期の業績につきましては、売上高は前年同期実績を上回り、利益面につきましては、前年同期実績から赤字幅が縮小しました。

その他



売上構成比
3.5%

売上高

26億24百万円

前年同期比
+0.1%



営業損失

32百万円

前年同期営業損失
46百万円



当期の業績について

宮島醤油フレーバー(株)は調味料・加工品のOEMを主な事業としており、当社グループ店舗で使用する調味料などの開発も行っており、商品数の拡大にも注力しました。

上半期の業績につきましては、売上高は前年同期実績を上回り、利益面につきましては、前年同期実績から赤字幅が縮小しました。

内製化の推進によるお客様満足度の向上

自社工場での製造による商品の品質向上やボリュームアップなど付加価値の高い商品によって、お客様満足度の向上を目指していきます。また、積極的にキャンペーンを実施することで販売量の増加を目指します。これにより、店舗販売量が増加し工場での生産量が増加することで、さらなる製造効率の向上が見込めます。そして、より魅力的な商品の提供、キャンペーンが可能となります。

なお、ほっともっとでは、10月に自社工場で製造した「ロースかつ」を使用した『かつ丼フェア』を実施し、多くのお客様にご好評いただきました。

付加価値の高い商品が可能に



「ロースかつ」は食べ応えにこだわり、従来のとんかつと比較して20%増量することで新しく生まれ変わりました。さらに、サクサクの食感を実現するために2種類のパン粉を使用するなど、これまで以上に付加価値の高い商品に仕立てました。

価格を追求した商品が可能に



今後も、製造アイテムの順次拡大や製造シェアの見直しによって、さらなる稼働率の向上や製造量の増加を見込みます。これにより、製造効率もさらに向上し、将来的にも原価を低減することが可能になります。

魅力的なキャンペーンの実施が可能に



当社グループ工場の活用によって、商品企画から販売までの一元管理や、牛・豚・鶏・魚・野菜といった幅広い原料の取り扱いにより、幅広いメニューを提供することで、様々なお客様のニーズへ応えてまいります。



Hotto Motto
ほっともっと

デミグラス、4種のごぼれチーズ、和風おろし
新『ハンバーグステーキ』

2019年4月25日発売

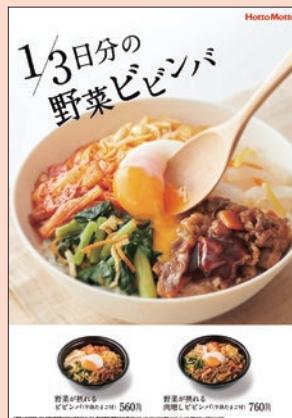
「ほっともっと」は、“店内調理による手づくり”を特長とした商品を提供することにより、競合との差別化を図っております。

自社工場で生産することで従来よりも35%増量が可能となった新『ハンバーグステーキ』など、より付加価値の高い商品を提供しました。



たっぷり野菜がうれしい！
『野菜が摂れるビビンバ』

2019年6月1日発売



サクサクとんかつ×大根おろし×特製旨ダレ
『さっぱりおろしかつめし』

2019年6月25日発売



YAYOI
JAPANESE TEISHOKU RESTAURANT

旨塩とレモンで爽やかに
『さっぱりレモンの
カットステーキ定食』
2019年3月19日発売

「やよい軒」は、日本人の主食である炊きたてのご飯を中心に、素材や手づくり感にこだわりながら、みそ汁、おかず、副菜等を一つのお膳にバランスよくまとめた『定食』を、お手頃価格で提供しております。

『カットステーキ定食』など、ターゲットをより明確にした商品を提供しました。



まぜて、ごはんにとろ〜り
『ねばとろごはん鶏天の定食』
2019年4月25日発売



ごはんが止まらない！
『漬け込みカルビ焼肉定食』
2019年8月20日発売



最新型「やよい軒」誕生



「やよい軒」では、新たな店舗デザインと生産性を追求した最新型「やよい軒」を3月に東京本社1階に開店しました。そして5月にはバランスの良い「やよい軒」の定食を、いつでもどこでも気軽に楽しめるように、テイクアウトサービスも開始しました。最新型「やよい軒」では店内をイートインとテイクアウトに分

けることで、ニーズの異なるお客様にフレキシブルに対応すると共に、「ほっともっと」のノウハウを活かし、より多くのお客様に「やよい軒」の味をお届けしてまいります。

テイクアウトサービスを加えることで、さらなる生産性の向上を実現すると共に、これまで以上に、都心や人口密集エリアへの積極的な出店を目指してまいります。

いつでもどこでも、すべてのひとに。「やよい軒」はこれからも笑顔と感動をお届けし続けるよう邁進してまいります。



「やよい軒茅場町店」(左：テイクアウト 右：イートイン)

もち麦入りごはんはじめました！



「ほっともっと」ではすべての弁当のごはんを、「やよい軒」ではすべての定食・朝食のごはんを販売価格にプラス30円で『もち麦入り金芽ごはん』に変更いただけるようになりました。

もち麦は、穀物の中でも食物繊維が豊富な上に、水溶性食物繊維の一種であるβ-グルカンやポリフェノールを含む注目の食材です。また、『もち麦入り金芽ごはん』は、もちもち、プチプチした食感で食べ応えもあり、腹持ちが良いことも魅力です。

当社グループでは、これからもさらに健康的な食事をサポートできるよう、お客様の体と心の元気を支える食づくりを目指してまいります。

やよい軒アプリ始めました

おトク＆便利がいろいろ！

今ならうれしい入会特典付き！

やよい軒公式 HP :

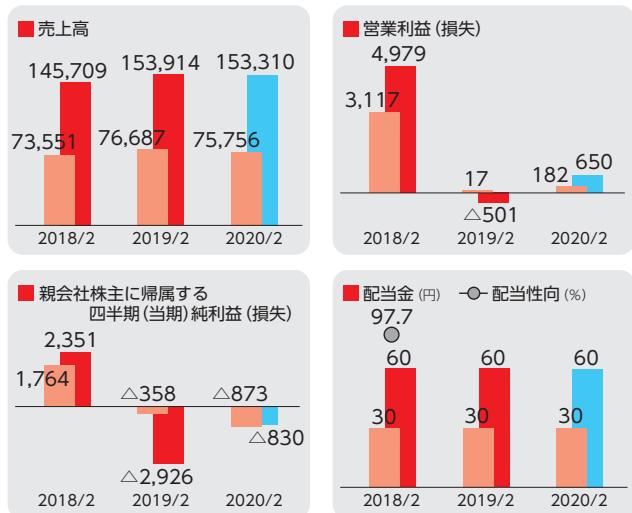
https://www.yayoiken.com/mobile_apps/



連結財務データ

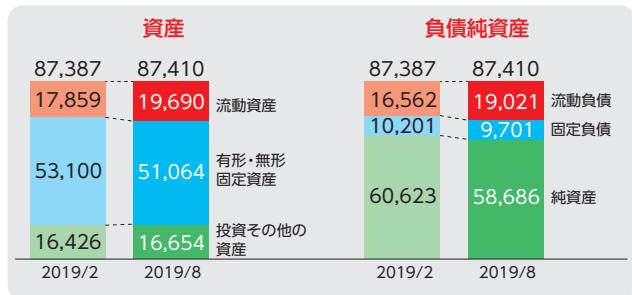
連結業績の推移 (百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期(予想)

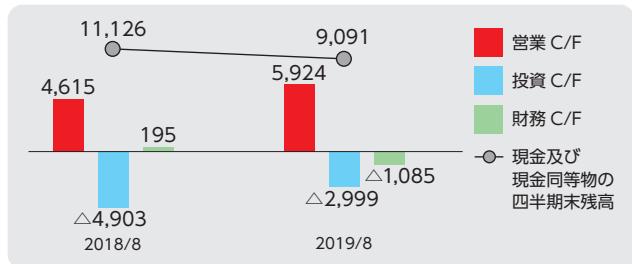


*2019/2、2020/2の連結ベースでの配当性向は1株あたりの当期純利益がマイナスであるため記載しておりません。

連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フローの推移 (百万円)



セグメント別業績データ

Plenus

セグメント業績の推移 (百万円)

ほっともっと事業



やよい軒事業



MKレストラン事業



海外事業



会社概要 (2019年8月31日現在)

商号 株式会社プレナス (英文名 PLENUS Co., Ltd.)
 創業 1960年3月
 設立 1976年11月
 資本金 34億61百万円
 福岡本社 福岡県福岡市博多区上牟田一丁目19番21号
 東京本社 東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号
 従業員数 1,270名
 上記従業員のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は6,331名(1日8時間換算)であります。

株式の状況 (2019年8月31日現在)

発行可能株式総数 92,568千株
 発行済株式の総数 44,392千株
 株主総数 64,105名

株式数分布状況



グループ会社 (2019年8月31日現在)

【国内】(子会社) (株) プレナス・エムケイ
 (株) プレナスフーズ
 (株) プレナスワークサービス*
 宮島醤油フレーバー(株)
 (株) フーディフレーバー
 (関連会社) (株) 九州トヨー

【海外】(子会社) 北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)
 PLENUS AusT PTY. LTD.(オーストラリア)
 臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)
 Plenus, Inc.(米国)
 Plenus Global Pte. Ltd.(シンガポール)
 BayPOS, Inc.(米国)
 (関連会社) PLENUS & MK PTE. LTD.(シンガポール)
 YK Food Service Co., Ltd.(韓国)*
 PLENUS & MK MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア)*
 威海東源食品有限公司(中国)

※連結の範囲に含めない関係会社

株主優待制度について

当社の株主優待制度は、「ほっともっと」「やよい軒」「MK レストラン」で「株主お買物優待券」をご利用いただける制度です。当社グループ店舗をご利用いただき、当社グループの商品・サービスに対するご理解を深めていただければ幸いです。

(1) 対象となる株主様

毎年2月末日の株主名簿に記載、または記録された100株(1単元)以上を1年以上継続保有*されている株主様を対象といたします。

※1年以上継続保有とは、「当年2月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同じ株主番号で前年の2月末日、8月末日に記載、または記録されていること」といたします。

※株主名簿に記載されている株主番号が変更されると「株主お買物優待券」の贈呈対象とならない場合がございます。

(2) 優待の内容

毎年2月末日の対象株主様に、当社グループ国内店舗で使用可能な株主様限定の「株主お買物優待券」を贈呈いたします。(年1回)

- 100株以上 1,000株未満
500円分の「株主お買物優待券」5枚(2,500円相当)
- 1,000株以上
500円分の「株主お買物優待券」10枚(5,000円相当)

(3) 贈呈の時期

5月下旬に贈呈対象の株主様に発送いたします。

株主優待制度についてのお問合せ

プレナスのIRサイトをご覧ください。
<https://www.plenus.co.jp/ir/yutai/>



株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	毎年5月
株主確定日	
定時株主総会	2月末日
期末配当	2月末日
中間配当	8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページに掲載。) 但し、事故 その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先及び 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎0120-288-324

株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き(住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等)のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先

お取引のある証券会社等へお問合せください。

■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先

みずほ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)へお問合せください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 ☎0120-288-324

※未払い配当金について

未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

お問合せ先

株式会社プレナス 会計本部 IR室

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号 日本橋弥生ビルディング

TEL.03-6892-0304

ホームページアドレス <https://www.plenus.co.jp/>